

大東亞戰爭必勝完遂

幼児の母



昭和十八年
三月

日本の幼稚園の保育修了式

今月の保育修了式は、お子さん達の大喜の日です。心からお祝ひしますが、どうぞ、かういふ日にこそ、國の恩を感じ、國に報いる心を起させたいものです。勿論お子さん達に、さうしたことが、充分理解させることはむづかしい。が、理解がむづかしいだけに、愈々、はたのものゝその心持ちが大切でです。母とは、子どもに教育する前に、子どもに代つて感じてやらなければならぬことが屢々あります。さうしてその感じを、我子に感じさせるのです。

保育修了式に、子どものごとながら嚴肅性があるのは、つまり、國といふ意識に結びつくところにあるのです。たゞ、自分達の力、自分達の幸福といふだけだから、この大東亞戰爭下、小さなことに過ぎません。幼稚園の門に國旗を立て、君ヶ代を合唱し、國民儀禮をして式をするにはありません。お母さま方はそこをよよく感じて下さい。それでこそ、日本の幼稚園の保育修了式です。

幼稚園保育幾年。いろ／＼の教育を受けられました。しかし、その中で一番大切な教育は、國恩の感謝と、報國の心との芽はえも、正しく培はれたことです。これから國民學校に入學して、それを益々練成せられるのです。保育修了も、その意味で目出度いのです。

幼稚園から

○修了を喜んでゐられるお子さん達を見てゐますと、まこと行届かなかつたと思ひます。お母さま方からお禮などないはれますと、全く恐縮いたします。これが三月の私達の心持ちです。

○幼稚園を終つて、國民學校の兒童になられる。その希望に輝いてゐるお子さん達の目を見ますと、つり込まれるやうに嬉しく勇ましくなります。お母さま方がそれを喜んでゐられるのを、心からお察し出來ますし、又、お察し出來る以上にぞんなのでらつしやるだらうと思ひます。これが三月の私達の心持ちです。

○かうして幼稚園を第一段階として、次々に登り進んでゆかれるお子さん達の將來が、明るく楽しく想像せられたり、嚴かに期待せられたりします。そして、もう一度お子さん達の顔を見ます。なんといふ親しい顔でせう。これが私達がいつまでも忘れないお子さんの顔です。